

力強く前へボールを運ぶ永井(クラブ提供)

ラグビー15人制女子のワールドカップ(W杯)ニュージーランド大会が8日開幕する。ベスト8入りを目標にする日本代表で、初の大舞台へ胸を高鳴らせているのが、横浜市戸塚区を拠点に活動している横浜TKM所属の永井彩乃だ。突破役を担う24歳のナンバー8は「自分がどこまで通用するか、挑戦していきたい」と意気込んでいる。
(下屋 鋪 聡)

ラグビー女子W杯8日開幕



突破力生かし挑戦



本番に向けて意気込む横浜TKMの永井(クラブ提供)

横浜TKM

ナンバー8 永井

168センチ、84キログラムの体で力強く前へボールを運ぶ永井(クラブ提供)。試合でも、随所にらしさを発揮。世界ランキング6位から29-10で金星を挙げる原動力の一つとなった。「アイルランド戦は忘れられない思い出。自分の得意なプレーがたくさん通じると実感ができた試合だった」。7度

「チーム一丸で戦う」

目の対戦での初勝利に好感触を得ている。
広島県生まれで、楯円球と出合ったのは中学1年のとき。ラグーマンだった父の知人からユース世代を対象とした関西地区での強化選手のセレクションに誘われ、合格したのがきっかけだ。以降は、体格に関係なく、自分の得意な部分で輝ける」という魅力にのめり込んだ。
高校は強豪の島根・石見智翠館に進学し、日本大時代には初キャップを獲得。2020年に横浜TKM入りし、クラブを運営する医療法人「横浜未来ヘルスケアシステム」の本部で働きながら汗をかいてきた。
新型コロナウイルスの影響で1年延期を余儀なくされた今大会。目標を失いかけた時期もあっただけに、喜びがあふれている。応援してくれる地元横浜のファンへ「いよいよW杯本番です。今まで世界と戦える準備をたくさんしてきました。チーム一丸となって戦います。応援、よろしくお願いします」とメッセージを送っている。